

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス キッズ☆station 近江八幡		
○保護者評価実施期間	R7年12月10日		～ R8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	R7年12月10日		～ R8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月12日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	たくさんある個室を利用してニーズにあった支援をする事ができる。 理念の元寄り添う支援をする事で安心してご利用することができる。	個室がたくさんあるので、個々の療育、過ごしに必要なものを備えて活動できるように心がけている。	出勤回数の少ないパート職員等への支援方法の統一の為連絡ノートの活用しコミュニケーションをはかり、情報共有をはかる。
2	バランスを考えた、活動プログラム。	外出行事・室内での工作・食育等バランスを考えてかたよりの無いようにプログラムを作成するようにしている。	プロの音楽グループとの音楽レッスンをしている。 昨年はチャリティーコンサートにも参加。 更なる取り組みの充実を図り、子供たちの活躍する場を広げたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	階段があり安全面で、転落のリスクがある。	階段に手すりを設置し、安全に配慮する。	階段の上り下り際には職員が必ず付き添う。
2	保護者会の活動ができていない。	面談時等に保護者会の必要性について問うも、要望が上がってこない。	私自身が過去に保護者会の会長をしていたことがあったが、当時(昭和後期)当時は情報が欲しい保護者さんが多かった。保護者様のニーズの多い勉強会等を考えるのも一考とも思う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 株式会社スマイルフューチャー キッズ☆station近江八幡

公表日 令和8年 月 日

利用児童数 33(29世帯)

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2	0	1		適正なスペースを確保している。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	8	配置数他、スタッフの顔と名前を知れると子供とも共通の認識が持ててありがたい。(年度はじめにお便りでお知らせ等)	通信等でお知らせできるように検討していきたいと思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1	0	4		階段には手すりを設置
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	5		玩具・ブロックなど毎日アルコールでふき取り衛生面でも清潔にしている。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1	0	1		子供の気持ちを常に考え特性に応じた対応・支援をしている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	0	0	0		子供の事を職員間でしっかりと話し合い作成している。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	0	0	0		外出行事・食育・工作等をバランスを考えて活動プログラムにとりいれる。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	1	11	現実的には難しそう	児童館や公園等で交流する事がある。トラブルにならないように気を配りながら支援をする。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1	0	0		時間をかけてしっかりと伝えている。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	2	0	0		児童支援管理責任者が支援計画をもとに説明をしている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	3	12		個別面談時や送迎時に支援情報を提供している。今後研修会も検討する。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23	2	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	5	4	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	6	13		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2	1	5		相談や申入れについては常に迅速に対応できるよう心掛けている。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	3	0	1	欠席や予定変更の連絡がLINEなどでできるとありがたい	希望されている保護者様とはLINEで連絡しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	2	0	0		鍵のかかる場所で保管
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	0	6		各種マニュアルあります。契約時に説明をしていますが、再度わかりやすく説明します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	8		半年に一度実施している。通信にも載せている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	0	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0		満足度について◎をつけて下さっている家族様もおられ、とても励みになっている。今後もご利用者様やご家族様に寄り添い満足していただけるように努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	2	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		株式会社スマイルフューチャー キッズ☆station近江八幡		公表日		令和8年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2		部屋数が足りない時がある。部屋数が多いので見守りに課題がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	3		職員が少ないとき、利用者が多いときがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	3	それぞれが過ごしやすい場所を選んで過ごせるようになっている。階段に手すりがある。	各部屋の名称がきちんとある方が分かりやすいので、決めたい。階段を上がらないとトイレへ行けない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	風邪気味の方がいる時の消毒をしっかりとしている。それぞれの遊びができる場所や玩具の配置などをおこなっている。	清潔感等についてはもう少し全体的に意識を高めたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	ドア付きの部屋があるため、それぞれの希望に応じた活動が出来るようになっている。個別の場所を子供の様子を見ながら環境設定している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	ノートでの伝達などもしながら情報交換している。	非常勤の方への参画ができていない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	日常的に情報交換の機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	社内社外の研修を各自参加したり、伝達などしている。	より多くの研修の機会を持てるように各自で調べての情報共有の機会を設けていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	ホームページにわかりやすく掲載している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	ノートを使い行われている。	非常勤への共有があいまいである。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1		フォーマルなアセスメントが十分でない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	管理者、社員が中心になって子供の支援設定をし、パートにおろしていくようにしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	それぞれ個別に伝達する場合もあるが、必要なことが把握できるように伝え合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	緊急でない限りは次の日の朝に行うようしている。全員で集まってという形でなくとも、その日に感じたこと、気付いたことなど気軽に伝え合えるようになっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	個別記録、職員会議録などをきちんと記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	3		家族からの情報に頼っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		家族への提供にとどまっている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	2		公園に行った時に関わるのみになっている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	月1回通信を発行しており、今後インスタも開設予定である。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6		職員が十分でなく、できていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1		現状、身体拘束を要する状況はないが、あればそれらの説明や記録などは適切に行っていく。	